



令和5年8月14日

市政記者 各位

福岡市経済観光文化局
史跡整備活用課

国史跡「生の松原元寇防塁」がより身近になりました —フェンスの改修により、防塁の間近で見学ができます—

福岡市では、歴史豊かな本市に残された重要な文化財を、地域の活性化や、観光・集客に活かす事業に取り組んでおります。

このたび、史跡元寇防塁(生の松原地区)でフェンス等の改修工事が完了し、8月16日(水)から公開を開始します。本地区は海に面した立地に恵まれていることから、蒙古襲来当時の雰囲気を感じることができることに加え、市内で唯一、現地で防塁本来の姿を復元している場所です。今回の改修工事により、元寇防塁を間近で見学し、歴史を体験的に感じることができるようになりました。また、透過型の説明板も新たに設置し、より分かりやすい解説も行っています。

生の松原元寇防塁では、今年4月に、観光利用促進と認知向上を図るため、駐車場(有料)も整備しており、この機会に更に多くの市民・観光客の皆様へ、来訪いただきたいと考えております。

ぜひご取材いただき、市民の皆様への周知・広報にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

生の松原元寇防塁位置図および現況写真

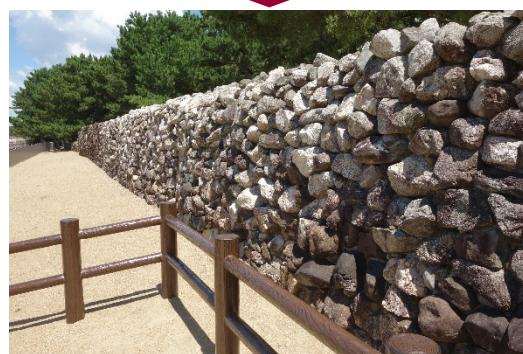


- ・生の松原元寇防塁は天神から車で20分(10km)となっています。
- ・静かな松林に囲まれるなか、海に面したロケーションは、鎌倉時代当時の迫りくる元の大船団を想起させ、人々が感じた畏怖や緊張感といった歴史を今に感じることができます。
- ・夏休みの自由研究にもうってつけです！



改修前(防塁は柵の中で遠くから見学)

改修後



手が届くぐらいの距離で、石積みもよく見える

【お問い合わせ】

経済観光文化局 史跡整備活用課 担当:長家・今井
TEL:711-4470(内線4470)/FAX:733-5537

福岡市の文化財
CULTURAL PROPERTIES IN FUKUOKA

【参考】

1. 生の松原元寇防塁とは？

元寇防塁は今から約 750 年前の鎌倉時代に、元の襲来に備えて、博多湾岸の今津～香椎の約 20km にわたって築造された石積遺構です。対外交流により都市の発展と多様性を生み出してきたゲートウェイ都市としての本市の歴史的特徴をよく示す、貴重な歴史資産といえます。

防塁の築造に当たっては九州各地の御家人が動員されたと言われ、生の松原地区は肥後の国の分担であったことが知られています。また、肥後の国の御家人竹崎季長の活躍を描いた、国宝『蒙古襲来絵詞』においても、この地で御家人が元の襲来に備えた様子が活写されています。

海に面したロケーションに恵まれていることから、「元寇」という歴史事象を想起しやすい生の松原地区では、防塁の一部の復元整備を行い、公開・活用を進めています。



生の松原元寇防塁(「蒙古襲来絵詞(模本)」(九州大学附属図書館所蔵)部分)



元寇防塁現況



透過型説明板

2. 駐車場について

【駐車台数】バス1台(大型バス可能)、普通車7台

【料 金】(バス)1時間につき 1,000 円、(普通車)1時間につき 100 円

3. トイレについて

駐車場の隣に、見学者等のための公衆トイレを設置しています。誰もが快適にトイレを使用できるようにするため、「認知症の人にもやさしいデザイン」を採用した屋外トイレです。



駐車場近景



トイレ外観